

『2019 ハンザクラスダブルハンドマッチレース全日本選手権 』

は じ め に

転覆のしない船という思想で作成されたアクセスディンギーのマッチレースを開催しました。本事業は、障がい者や高齢の方など誰でも参加可能という点が大きな特徴となっております。

マッチレースという形式を採用したので、1対1の白熱したレースが開催されました。併せて、試乗会を開催し、エンジンなどを使わないクリーンな乗り物で風や波を体験してもらいました。

当日は天候に恵まれ、晴天の下、穏やかな風の中でアクセスディンギーのマッチレース及び試乗会が開催されました。

レポ ー ト

大阪北港マリーナにて、アクセスディンギーのマッチレース及び試乗会を行いました。少しレースには物足りないコンディションの中、海へ出艇していきました。



各艇に2名乗船し、互いに協力しながらゴールを目指します。

1対1のマッチレース形式の為、勝ちか負けしかなく、白熱したレースが展開されました。



レースの合間に試乗会も開催しました。初めてのセーリング体験には、ぴったりの風となりました。マリーナ内水域を利用し、自然のエネルギーのみで動くヨットというスポーツを体験してもらいました。



試乗会とレース、違う特徴を持ったイベントを年間通じて、複数回行うことにより、ヨットというスポーツを広めていきたいと考えております。今後の目標として、試乗会に来ていただいた方への案内を強化し、参加者を増やしていきたいと思います。当団体の主催するイベントへの参加者を増加することにより、レースや試乗会が高齢の方や障害者の方のコミュニティとなり、体やメンタルの健康の維持の一端となれるよう今後も活動していきます。



